



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 株式会社シャルレ 上場取引所 東
 コード番号 9885 URL <https://www.charle.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 勝哉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 千本松 重雄 TEL 078-792-8565
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	10,240	△16.9	377	△76.1	416	△74.0	△444	-
2022年3月期第3四半期	12,320	15.5	1,578	-	1,600	-	1,198	-

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △476百万円 (-%) 2022年3月期第3四半期 1,195百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△28.09	-
2022年3月期第3四半期	75.70	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	20,501	18,211	88.8
2022年3月期	22,145	18,814	85.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 18,211百万円 2022年3月期 18,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	8.00	8.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	8.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	△17.8	78	△95.4	107	△93.8	△756	-	△47.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	16,086,250株	2022年3月期	16,086,250株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	250,835株	2022年3月期	250,777株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	15,835,469株	2022年3月期3Q	15,835,615株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の影響により制限されていた社会経済活動が徐々に正常化する一方で、長引く世界情勢の混乱を背景としたエネルギー資源や原材料価格の高騰により、インフレ圧力は高まっております。また世界各国による金融引き締め策によって円安の進行及び輸入コストの増加を招き、国内経済は急激な物価上昇に賃金上昇が追いつかず、生活防衛意識が高まるなど消費者心理は急速に悪化しており、先行き不透明な状態が継続しております。

このような環境のもと、当社グループは、当連結会計年度を初年度とする5か年の中期経営計画に取り組んでまいりました。

業績回復に向けた成長戦略として掲げた2つの基本戦略の1つである「シャルレビジネス事業の再生」につきましては、事業構造改革の推進として直受注・直発送（BtoC）モデルの導入に向けた現ビジネスモデルの改革検討と、新たな販売プログラムの導入に向けた新ビジネスプランの詳細設計及び実行計画の検討を継続しております。ブランド・マーケティング戦略の強化では、企業ブランドの価値の再定義及び商品ブランドの再編に加え、フェムテック、フレイルなど各領域の商品開発に引き続き取り組んでおります。

基本戦略の2つ目である「新規事業開発による新たな柱の創造」につきましては、子会社支援とM&Aなどの企業探索を引き続き行っております。海外展開についても、テストマーケティングや販路拡大に向けての商品開発に取り組んでおります。

(レディースインナー等販売事業)

品目別売上高	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	増減率 (%)
衣料品類 (百万円)	6,906	6,592	△4.5
化粧品類 (百万円)	1,713	1,531	△10.6
健康食品類 (百万円)	783	686	△12.4
その他 (百万円)	1,045	461	△55.8
合計 (百万円)	10,449	9,272	△11.3

感染症対策の制限緩和を背景に、訪問販売業における活動環境が改善されつつあり、9～10月にかけてコロナ禍以降3年振りとなる大規模なビジネスメンバー向けのセミナーを全国8地区で開催し、販売支援を強化いたしました。

商品面におきましては、衣料品類では、当期リニューアルしたアウター商材や寝具類の生活関連商材などが売上を牽引したものの、前期に実施したアウター商材のシリーズ見直しにともなう値引販売の特殊要因もあり、売上高は65億92百万円（前年同四半期比4.5%減）となりました。

化粧品類では、定番商品のスキンケア商材が伸び悩んだことに加え、前期にヘアケア商材の全面リニューアルを実施し、発売記念商品が売上に貢献していたことなどから、売上高は15億31百万円（同10.6%減）となり、健康食品類も定番商品が前年を下回り、新商品の発売もなかったことにより、売上高は6億86百万円（同12.4%減）となりました。

その他では、前期に続き子会社のシャワーヘッドを数量限定で販売しましたが、発売2年目となり売上が大きく減少しました。

以上の結果、売上高は92億72百万円（同11.3%減）となりました。利益面につきましては、アウター商材の販売が好調に推移し在庫ロスの低減ができたことや、希望退職による人件費の圧縮など固定費の削減に努めたことが、シャワーヘッドなどの売上の減少額が大きかったことに加え、前年程の在庫ロスの低減には至らなかったことから、セグメント利益は3億17百万円（同49.7%減）となりました。

(ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業)

美容への作用が期待できる節水シャワーヘッドにおいては、ホテルや美容サロンへの導入など、営業活動を積極的に続けておりますが、需要の一巡による売上の鈍化に加え、新規参入事業者の増加及び価格競争の激化により売上は大きく減少しました。

以上の結果、売上高は10億円(同52.9%減。セグメント間の内部取引高を含む)、セグメント利益は1億9百万円(同89.0%減)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、売上高は102億40百万円(同16.9%減)、営業利益は3億77百万円(同76.1%減)、経常利益は4億16百万円(同74.0%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、特別退職金7億92百万円を特別損失に計上したことから、4億44百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益11億98百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の減少19億31百万円、投資その他の資産のその他の増加3億84百万円等により、前連結会計年度末に比べ16億43百万円減少し、205億1百万円となりました。

負債は未払法人税等の減少3億21百万円、未払消費税等の減少2億42百万円、未払金の減少2億37百万円、賞与引当金の減少1億6百万円等により、前連結会計年度末に比べ10億40百万円減少し、22億90百万円となりました。

純資産は親会社株主に帰属する四半期純損失4億44百万円の計上、剰余金の配当1億26百万円等により、前連結会計年度末に比べ6億2百万円減少し、182億11百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は88.8%(前連結会計年度末は85.0%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月28日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,249	11,317
受取手形	15	18
売掛金	242	182
商品及び製品	3,075	2,864
仕掛品	7	7
原材料及び貯蔵品	88	84
その他	214	387
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	16,892	14,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	972	924
機械装置及び運搬具（純額）	125	237
工具、器具及び備品（純額）	141	122
土地	947	947
リース資産（純額）	77	52
有形固定資産合計	2,264	2,284
無形固定資産		
のれん	50	39
その他	1,093	1,112
無形固定資産合計	1,144	1,151
投資その他の資産		
投資有価証券	404	369
繰延税金資産	35	3
退職給付に係る資産	1,023	1,064
その他	384	769
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	1,843	2,203
固定資産合計	5,252	5,639
資産合計	22,145	20,501

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	549	545
1年内返済予定の長期借入金	7	7
リース債務	59	41
未払金	798	560
未払法人税等	342	21
契約負債	104	78
賞与引当金	260	154
その他	351	58
流動負債合計	2,472	1,466
固定負債		
長期借入金	25	20
リース債務	19	11
長期未払金	153	137
契約負債	193	196
繰延税金負債	313	329
退職給付に係る負債	153	127
固定負債合計	858	823
負債合計	3,331	2,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	10,416	9,844
自己株式	△131	△131
株主資本合計	18,782	18,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26	△53
退職給付に係る調整累計額	58	54
その他の包括利益累計額合計	31	0
純資産合計	18,814	18,211
負債純資産合計	22,145	20,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	12,320	10,240
売上原価	5,344	5,014
売上総利益	6,975	5,226
販売費及び一般管理費	5,396	4,848
営業利益	1,578	377
営業外収益		
受取利息	5	0
貸倒引当金戻入額	0	0
雑収入	17	40
営業外収益合計	23	40
営業外費用		
支払利息	1	0
雑損失	0	0
営業外費用合計	2	1
経常利益	1,600	416
特別利益		
固定資産売却益	8	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別退職金	—	792
特別損失合計	0	792
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,608	△376
法人税、住民税及び事業税	414	18
法人税等調整額	△4	49
法人税等合計	409	68
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,198	△444
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,198	△444

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,198	△444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△27
退職給付に係る調整額	2	△4
その他の包括利益合計	△2	△31
四半期包括利益	1,195	△476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,195	△476
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	レディース インナー等 販売事業	ウルトラファ インパブル技 術製品等製造 販売事業	計			
売上高						
衣料品類	6,906	—	6,906	6,906	—	6,906
化粧品類	1,713	—	1,713	1,713	—	1,713
健康食品類	783	—	783	783	—	783
その他	1,045	1,871	2,917	2,917	—	2,917
顧客との契約から生じる収益	10,449	1,871	12,320	12,320	—	12,320
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	10,449	1,871	12,320	12,320	—	12,320
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	251	251	251	△251	—
計	10,449	2,122	12,571	12,571	△251	12,320
セグメント利益	630	991	1,622	1,622	△43	1,578

(注) 1 セグメント利益の調整額△43百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△47百万円、セグメント間取引消去4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	レディース インナー等 販売事業	ウルトラファ インパブル技 術製品等製造 販売事業	計			
売上高						
衣料品類	6,592	—	6,592	6,592	—	6,592
化粧品類	1,531	—	1,531	1,531	—	1,531
健康食品類	686	—	686	686	—	686
その他	461	967	1,429	1,429	—	1,429
顧客との契約から生じる収益	9,272	967	10,240	10,240	—	10,240
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,272	967	10,240	10,240	—	10,240
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	32	32	32	△32	—
計	9,272	1,000	10,273	10,273	△32	10,240
セグメント利益	317	109	426	426	△49	377

(注) 1 セグメント利益の調整額△49百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△50百万円、セグメント間取引消去0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。